

区 分	高城科目－全学連携科目	担当教員	橋元 純也			
授業科目	初年次セミナー I (生産工学科)					
英 訳	First year seminar I					
配当年次	1年次	前期	必選別	必修	単位数	2単位
<b>【授業の概要】</b>						
第1・2回は授業概要ガイダンスおよびオリエンテーションをおこない、第3～5回は総合教育センターが担当する全学科合同セミナーに参加する。第6～15回は、生産工学科教員による学科セミナーを行う。合同セミナー・学科セミナーでは、担当チューターによるホームルームの時間も設定する。						
<b>【授業の目的】</b>						
初年次生を対象に、各学科・総合教育センター・事務部による全学的連携のもと、本大学における学修・生活への円滑な移行を支援する。						
<b>【到達目標】</b>						
①本大学構成員間の信頼関係を構築しながら、②本学院の建学の精神や、本大学の歴史・教育理念などを理解し、③大学生として、本大学生として、所属学科の学生として、必要な知識・技術を身につける。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b>						
毎回の授業内容を理解・整理しておき、不明点は質問すること。						
<b>【授業計画】</b>						
第 1回 学科別授業概要ガイダンス						
第 2回 新入生オリエンテーション						
第 3回 全学科合同セミナー 大学生の学修と生活①「大学を知る」						
第 4回 全学科合同セミナー 大学生の学修と生活②「本大学を知る」						
第 5回 全学科合同セミナー 大学生と人権						
第 6回 学科セミナー 中間まとめ・ふりかえりシート作成						
第 7回 学科セミナー 機械工学コースの説明①「ものづくりを支える CAD/CAM 技術」						
第 8回 学科セミナー 機械工学コースの説明②「スターリングエンジンの設計と試作」						
第 9回 学科セミナー 電気工学コースの説明①「発電について」						
第10回 学科セミナー 電気工学コースの説明②「電気系の仕事について」						
第11回 学科セミナー 電気工学コースの説明③「太陽光発電について」						
第12回 学科セミナー 情報制御コースの説明①「情報・符号・暗号について」						
第13回 学科セミナー 情報制御コースの説明②「最近の情報技術について」						
第14回 学科セミナー 情報制御コースの説明③「身近にあるコンピュータ」						
第15回 学科セミナー 期末まとめ・ふりかえりシート作成						
<b>【教科書】</b>						
テキスト『大学生の学修と生活』・別冊テキスト『キャンパス用語集2016年度版』を配布する。						
<b>【参考書】</b>						
講義中に必要に応じて示す。						
<b>【成績評価基準】</b>						
授業への取り組みや提出物の状況・内容などによる平常点(100%)により評価する。						
<b>【メッセージ】</b>						

区 分	高城科目－全学連携科目	担当教員	橋元 純也			
授業科目	初年次セミナー I (情報デザイン学科)					
英 訳	First year seminar I					
配当年次	1年次	前期	必選別	必修	単位数	2単位
<b>【授業の概要】</b>						
第1・2回は授業概要ガイダンスおよびオリエンテーションをおこない、第3～5回は総合教育センターが担当する全学科合同セミナーに参加する。第6～15回は、情報デザイン学科教員による学科セミナーを行う。合同セミナー・学科セミナーでは、担当チューターによるホームルームの時間も設定する。						
<b>【授業の目的】</b>						
初年次生を対象に、各学科・総合教育センター・事務部による全学的連携のもと、本大学における学修・生活への円滑な移行を支援する。						
<b>【到達目標】</b>						
①本大学構成員間の信頼関係を構築しながら、②本学院の建学の精神や、本大学の歴史・教育理念などを理解し、③大学生として、本大学生として、所属学科の学生として、必要な知識・技術を身につける。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b>						
毎回の授業内容を理解・整理しておき、不明点は質問すること。						
<b>【授業計画】</b>						
第 1回 学科別授業概要ガイダンス						
第 2回 新入生オリエンテーション						
第 3回 全学科合同セミナー 大学生の学修と生活①「大学を知る」						
第 4回 全学科合同セミナー 大学生の学修と生活②「本大学を知る」						
第 5回 全学科合同セミナー 大学生と人権						
第 6回 学科セミナー チューターグループ別コース体験実習①						
第 7回 学科セミナー チューターグループ別コース体験実習②						
第 8回 学科セミナー チューターグループ別コース体験実習③						
第 9回 学科セミナー チューターグループ別コース体験実習④						
第10回 学科セミナー チューターグループ別コース体験実習⑤						
第11回 学科セミナー チューターグループ別コース体験実習⑥						
第12回 学科セミナー チューターグループ別コース体験実習⑦						
第13回 学科セミナー チューターグループ別コース体験実習⑧						
第14回 学科セミナー チューターグループ別コース体験実習⑨						
第15回 学科セミナー 期末まとめ						
<p>※コース体験実習</p> <p>学生6～7名程度のチューター別グループを形成し、情報デザイン学科の3コース(ソーシャルメディア/メディアエンターテインメント/コミュニケーションデザイン)において、各3回ずつ、計9回の体験実習を実施する。</p>						
<b>【教科書】</b>						
テキスト『大学生の学修と生活』・別冊テキスト『キャンパス用語集2016年度版』を配布する。						
<b>【参考書】</b>						
講義中に必要に応じて示す。						
<b>【成績評価基準】</b>						
授業への取り組みや提出物の状況・内容などによる平常点(100%)により評価する。						
<b>【メッセージ】</b>						

区 分	高城科目－全学連携科目	担当教員	橋元 純也			
授業科目	初年次セミナー I (現代社会学科)					
英 訳	First year seminar I					
配当年次	1年次	前期	必選別	必修	単位数	2単位
<b>【授業の概要】</b> 第1・2回は授業概要ガイダンスおよびオリエンテーションをおこない、第3～5回は総合教育センターが担当する全学科合同セミナーに参加する。第6～15回は、現代社会学科教員による学科セミナーを行う。合同セミナー・学科セミナーでは、担当チューターによるホームルームの時間も設定する。						
<b>【授業の目的】</b> 初年次生を対象に、各学科・総合教育センター・事務報による全学的連携のもと、本大学における学修・生活への円滑な移行を支援する。						
<b>【到達目標】</b> ①本大学構成員間の信頼関係を構築しながら、②本学院の建学の精神や、本大学の歴史・教育理念などを理解し、③大学生として、本大学生として、所属学科の学生として、必要な知識・技術を身につける。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b> 毎回の授業内容を理解・整理しておき、不明点は質問すること。						
<b>【授業計画】</b> 第 1回 学科別授業概要ガイダンス 第 2回 新入生オリエンテーション 第 3回 全学科合同セミナー 大学生の学修と生活①「大学を知る」 第 4回 全学科合同セミナー 大学生の学修と生活②「本大学を知る」 第 5回 全学科合同セミナー 大学生と人権 第 6回 学科セミナー チューター別面談 第 7回 学科セミナー 教員紹介①+「異文化に目を向ける」 第 8回 学科セミナー 教員紹介②+「ピースボート乗船報告」 第 9回 学科セミナー 教員紹介③+「学外研修報告」 第10回 学科セミナー 交通安全教育講演会 第11回 学科セミナー 認知症サポーター講演会 第12回 学科セミナー 環境教育講演会 第13回 学科セミナー 介護職員初任者研究講座紹介 第14回 学科セミナー 高城祭について 第15回 学科セミナー 期末まとめ						
<b>【教科書】</b> テキスト『大学生の学修と生活』・別冊テキスト『キャンパス用語集2016年度版』を配布する。						
<b>【参考書】</b> 講義中に必要に応じて示す。						
<b>【成績評価基準】</b> 授業への取り組みや提出物の状況・内容などによる平常点(100%)により評価する。						
<b>【メッセージ】</b> これからの学生生活の土台をしっかりと作ってください。遅刻は認められません。						

区 分	高城科目－全学連携科目	担当教員	橋元 純也			
授業科目	初年次セミナー II (生産工学科)					
英 訳	First year seminar II					
配当年次	1年次	後期	必選別	必修	単位数	2単位
【授業の概要】 第1回は授業概要ガイダンスをおこない、第2回は総合教育センターが担当する全学科合同セミナーに参加する。第3～15回は、生産工学科教員および総合教育センター提供授業による学科セミナーを行う。学科セミナーでは、担当チューターによるホームルームの時間も設定する。						
【授業の目的】 初年次生を対象に、各学科・総合教育センター・事務局による全学的連携のもと、本大学における学修・生活への円滑な移行を支援する。						
【到達目標】 ①本大学構成員間の信頼関係を構築しながら、②本学院の建学の精神や、本大学の歴史・教育理念などを理解し、③大学生として、本大学生として、所属学科の学生として、必要な知識・技術を身につける。						
【準備学習(予習・復習)】 毎回の授業内容を理解・整理しておき、不明点は質問すること。						
【授業計画】 第 1回 学科別授業概要ガイダンス 第 2回 全学科合同セミナー 大学生の学修と生活③「後期の学修と生活」 第 3回 学科セミナー せのがわ学① 瀬野川の自然 第 4回 学科セミナー せのがわ学② 海田町の歴史と文化 第 5回 学科セミナー せのがわ学③ 瀬野の歴史と文化 第 6回 学科セミナー 高城祭2日目参加 第 7回 学科セミナー せのがわ学④ JR山陽本線の歴史と役割 第 8回 学科セミナー 中間まとめ・ふりかえりシート作成 第 9回 学科セミナー キャリアデザイン入門 第10回 学科セミナー SPI とは何か① 基礎 第11回 学科セミナー SPI とは何か② 演習 第12回 学科セミナー 特別キャンパス活動案内 第13回 学科セミナー 数学の使い方 第14回 学科セミナー 期末まとめ前半・ふりかえりシート作成 第15回 学科セミナー 期末まとめ後半						
【教科書】 テキスト『大学生の学修と生活』・別冊テキスト『キャンパス用語集2016年度版』を配布する。						
【参考書】 講義中に必要に応じて示す。						
【成績評価基準】 授業への取り組みや提出物の状況・内容などによる平常点(100%)により評価する。						
【メッセージ】						

区 分	高城科目－全学連携科目	担当教員	橋元 純也			
授業科目	初年次セミナー II (情報デザイン学科)					
英 訳	First year seminar II					
配当年次	1年次	後期	必選別	必修	単位数	2単位
【授業の概要】 第1回は授業概要ガイダンスをおこない、第2回は総合教育センターが担当する全学科合同セミナーに参加する。第3～15回は、情報デザイン学科教員および総合教育センター提供授業による学科セミナーを行う。学科セミナーでは、担当チューターによるホームルームの時間も設定する。						
【授業の目的】 初年次生を対象に、各学科・総合教育センター・事務部による全学的連携のもと、本大学における学修・生活への円滑な移行を支援する。						
【到達目標】 ①本大学構成員間の信頼関係を構築しながら、②本学院の建学の精神や、本大学の歴史・教育理念などを理解し、③大学生として、本大学生として、所属学科の学生として、必要な知識・技術を身につける。						
【準備学習(予習・復習)】 毎回の授業内容を理解・整理しておき、不明点は質問すること。						
【授業計画】 第 1回 学科別授業概要ガイダンス 第 2回 全学科合同セミナー 大学生の学修と生活③「後期の学修と生活」 第 3回 学科セミナー セのがわ学① 海田町の歴史と文化 第 4回 学科セミナー セのがわ学② 瀬野川の自然 第 5回 学科セミナー セのがわ学③ 瀬野の歴史と文化 第 6回 学科セミナー 高城祭2日目参加 第 7回 学科セミナー セのがわ学④ JR 山陽本線の歴史と役割 第 8回 学科セミナー 美術館見学 第 9回 学科セミナー キャリアデザイン入門 第10回 学科セミナー SPI とは何か① 基礎 第11回 学科セミナー SPI とは何か② 演習 第12回 学科セミナー 特別キャンパス活動案内 第13回 学科セミナー 情報デザイン講演会① 第14回 学科セミナー 情報デザイン講演会② 第15回 学科セミナー 期末まとめ						
【教科書】 テキスト『大学生の学修と生活』・別冊テキスト『キャンパス用語集2016年度版』を配布する。						
【参考書】 講義中に必要に応じて示す。						
【成績評価基準】 授業への取り組みや提出物の状況・内容などによる平常点(100%)により評価する。						
【メッセージ】						

区 分	高城科目－全学連携科目	担当教員	橋元 純也			
授業科目	初年次セミナー II (現代社会学科)					
英 訳	First year seminar II					
配当年次	1年次	後期	必選別	必修	単位数	2単位
<b>【授業の概要】</b>						
第1回は授業概要ガイダンスをおこない、第2回は総合教育センターが担当する全学科合同セミナーに参加する。第3～15回は、現代社会学科教員および総合教育センター提供授業による学科セミナーを行う。学科セミナーでは、担当チューターによるホームルームの時間も設定する。						
<b>【授業の目的】</b>						
初年次生を対象に、各学科・総合教育センター・事務部による全学的連携のもと、本大学における学修・生活への円滑な移行を支援する。						
<b>【到達目標】</b>						
①本大学構成員間の信頼関係を構築しながら、②本学院の建学の精神や、本大学の歴史・教育理念などを理解し、③大学生として、本大学生として、所属学科の学生として、必要な知識・技術を身につける。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b>						
毎回の授業内容を理解・整理しておき、不明点は質問すること。						
<b>【授業計画】</b>						
第 1回 学科別授業概要ガイダンス						
第 2回 全学科合同セミナー 客員教授特別授業						
第 3回 学科セミナー 学外学習・事前学習①						
第 4回 学科セミナー 学外学習・事前学習②						
第 5回 学科セミナー 学外学習・安芸太田町①						
第 6回 学科セミナー 学外学習・安芸太田町②						
第 7回 学科セミナー 学外学習・安芸太田町③						
第 8回 学科セミナー 学外学習・活動発表準備・報告書作成①						
第 9回 学科セミナー 学外学習・活動発表準備・報告書作成②						
第10回 学科セミナー 学外学習・活動発表準備・報告書作成③						
第11回 学科セミナー 学外学習・活動発表会						
第12回 学科セミナー 性感染症講演会						
第13回 学科セミナー レッドリボンキャンペーン						
第14回 学科セミナー 社会福祉士相談援助実習報告会						
第15回 学科セミナー ビジネスインターンシップ&ボランティア説明						
<b>【教科書】</b>						
テキスト『大学生の学修と生活』・別冊テキスト『キャンパス用語集2016年度版』を配布する。						
<b>【参考書】</b>						
講義中に必要に応じて示す。						
<b>【成績評価基準】</b>						
授業への取り組みや提出物の状況・内容などによる平常点(100%)により評価する。						
<b>【メッセージ】</b>						
これからの学生生活の土台をしっかりと作ってください。遅刻は認められません。						

区 分	高城科目－全学連携科目	担当教員	橋元 純也			
授業科目	自己の探求 I					
英 訳	Quest for Self I					
配当年次	1年次	前期	必選別	選択	単位数	1単位
<b>【授業の概要】</b>						
グループ活動形式で、①意見や情報を持ちよって合意形成し、集団として一定の結論をえるプロセスを体験するプログラム、②他者の能力・価値観・人生観といった個性にふれて相互理解をふかめ、自己探求の契機とするプログラム、③連帯感をともなう実習を通じ、コミュニケーション能力・社会性の体得意欲を高めるプログラムなどをおこなう。そして、プログラムについてのレポートを作成・提出を課す。						
<b>【授業の目的】</b>						
初年次生を対象に、各学科・総合教育センター・事務部による全学的連携のもと、本大学における学修・生活への円滑な移行を支援する。						
<b>【到達目標】</b>						
相互理解と自己探求をふかめ、大学生としての意識・意欲を身につける契機とする。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b>						
授業内容を理解・整理し、不明点は質問すること。						
<b>【授業計画】</b>						
第 1回 オリエンテーション						
第 2回 実習「あなたの学習スタイル」						
第 3回 実習「グルーピング」						
第 4回 実習「記者会見」						
第 5回 実習「総当たりインタビュー」						
第 6回 実習「コンセンサスを求めて」						
第 7回 前半のまとめ						
第 8回 実習「グループ討議・私の価値観」						
第 9回 実習「私のライフポジション」						
第10回 実習「私を活かすコミュニケーション」						
第11回 実習「バスは待ってくれない」						
第12回 実習「イメージ交換」						
第13回 実習「私の得たこと、学んだこと」						
第14回 グループ発表・まとめ						
第15回 レポート作成・提出						
<b>【教科書】</b>						
担当者がプリント資料を作成し、テキストとして配布する。						
<b>【参考書】</b>						
なし。						
<b>【成績評価基準】</b>						
プログラムへの取り組みやレポートの内容などによる平常点(100%)により評価する。						
<b>【メッセージ】</b>						